

健やかな体	保 健 ・ 衛 生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	88%	74%	100%	☐ 日々の健康観察や感染症対策、養護教諭によるヘルスチェックの指導などを通して、自己の健康に対する関心が高まった。 ☐ 基本的な生活習慣により、朝食をとらない生徒が一定数いる。全学年、栄養教諭を講師として食育指導を行う時間を取り、指導を行っているが、引き続き、食の重要性について啓発を行っていく。
	体 力 向 上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	79%	60%	92%	
		体力向上に努めている	74%	64%	92%	
	食 育	食に関する教育活動を行っている	87%	77%	96%	
信頼される学校	安 全 管 理	児童生徒の安全に気を配っている	91%	76%	100%	☐ 安全管理の高評価は、老朽化が進む本校の施設・設備で、担当による毎回の確実な安全点検、事務主幹による速やかな業者対応、庁務員による早目の修繕等の成果と捉えている。 ☐ 年間を通じた校内研修の実施により、職員自身が資質向上を実感できる結果となった。担当職員による受講した講習の全職員への伝達等により、主体性も向上している。
	情 報 提 供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	87%	77%	100%	
	P T A ・ 地 域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	91%	78%	100%	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			96%	
教育環境	環 境 整 備	教育環境が充実し、整備されている	82%	71%	72%	☐ 働きやすい職場づくりについて、少しずつ改善が図られている。今後も定期的に職員全体で実態把握を行い、適宜改善を図る機会を設けていく。
	職 場 環 境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			88%	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

☐ 教育目標や学校の雰囲気では、校訓を追求し、さらに目標を一本化して、生徒と教職員が一体となって教育活動に取り組んでいることから評価が高くなっていると考えられる。
☐ 心の教育の領域においても、日々の生徒との関わりや深さ、生活アンケートなどを通じて機を逸せず面談を実施するなど、職員が連携して生徒指導にあたる体制ができていことから評価が高いと考えられる。
☒ 家庭学習の習慣化についてはまだまだ課題が残る。生徒の自立した学びをサポートし、わかりやすい授業を実践していくための研修を今後も続けていく。
☐ 食育など健康に関する教育を養護教諭を中心に行っている。また、感染症などの拡大が懸念される時には、部活動を中止したり、室内での換気を徹底したりと、感染症対策にも意識を高くもって取り組んできた。
☐ 登下校の指導や配慮、食事、衛生面において生徒の安全管理を徹底している。
☐ 教科書のサイズが年々拡大し、それに伴い、生徒が使用する通学鞆も大きくなっている。校舎の造りが古い本校では、教室に荷物が収まるスペースがなく、対応に苦慮している面もある。
☐ 働きやすい職場づくりにおいては、教職員の業務量を勘案した校内人事を行っている。また、校務引継マニュアルの作成と活用や出退勤の自己管理を実践し、残業時間削減につなげている。

6 学校関係者評価

☐ 校訓に沿った「めざす生徒像」について、重点項目を定め、定期的に評価していることは、地道であるが効果的である。学校長を中心に、小さな課題を克服していくための緻密な計画が立てられていることが生徒の成長につながっている。
☐ 働き方改革への取り組みも進んでいることがわかる。教職員一人一人の個を生かしながやりがいを感じられる職場づくりを推進されており、各項目における教職員の評価も高い。
☐ 生徒のあいさつがすばらしいと感じる。また学力向上に向けての取り組みも功を奏し、保護者の評価は高くないが、学校からの課題が出ていなくても自主学習に励む生徒も多くなっていると感じている。
☒ 生徒、教職員の評価が高い項目で、保護者の評価がやや低くなっている。保護者がどう感じているか、学校の取り組みの見える化を図ることが今後重要となってくる。
☒ 教育環境が充実し、整備されている項目の評価が低い。学校の老朽化にともない、生徒の安全を守るために、さらに一層の安全点検に力を入れてほしい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

【学力向上に向けて】
☐ 「自立した学び手の育成」を目標として、生徒が主体的に学習に取り組むための「学びのプラン」を全教科で作成し、学ぶ意義や目的を十分に理解させ学習に取り組ませる。
☐ 本校の課題である「自分の考えの根拠を明確にして表現する」力を一層伸ばしていくために、朝の自主活動で行っている「スキルタイム」の活用をさらに充実させる。
【家庭・地域との連携について】
☐ 学校ホームページや通信など学校からの発信を今後も継続したうえで、保護者連絡用アプリなど通信機器も活用し、各家庭への発信力を高めていく。
☐ 育成協議会や地域コミュニティと連携し、「総合的な学習の時間」における講話等を通して、地域の未来をともに考えていく体制づくりに積極的に力のかかわる取り組みを推進する。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。